

※この事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。



令和元年度 長野県木育推進事業

長野県児童・生徒 木工工作コンクール 事業報告書



- 主催:長野県木材青壮年団体連合会
- 共催:長野県/中部森林管理局/長野県緑の基金/長野県県産材振興対策協議会/長野県木材協同組合連合会
- 後援:長野県教育委員会/長野県建築住宅センター/長野県森林組合連合会/NHK長野放送局/SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/
abn長野朝日放送/長野エフエム放送/新建新聞社/長野県民新聞社

長野県木青連事務局（県木連内）

〒380-8567 長野市岡田町30-16
TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580

メール: n-msr@siren.ocn.ne.jp
WEB: <http://n-msr.com/>

もくせいでん

検索

第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

※この事業は、「長野県森林づくり県民税」を活用しています。

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会

【後援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対象者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】 (1) テーマ
自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
(2) 大きさ
タテ・ヨコ・高さ それぞれ60cm以下とする。
(3) 締切り
令和元年 9月27日(金)
(4) 送り先
最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】

年月日	場所	内 容
令和元年 6月下旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付 各関係機関へ依頼書送付
7月～9月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中) 各材料の提供配布は地元会員が手配
9月27日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
9月28日～	県下全域	各地区審査会を実施
10月11日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
10月21日～25日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等9作品を長野県庁1階講堂前にて展示
11月3日	松本市	松本市「やまびこドーム」信州バザール内にて表彰式
令和2年 1月19日	全 国	全国児童生徒木工工作コンクール 一次審査
3月1日	福島県	全国児童生徒木工工作コンクール 二次審査
6月13日	宮城県	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

- 【審査基準】 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なった。
・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
・木の持味を生かし独創性に優れていること。
・機能、デザインが優秀であること。
・工作技術が優秀であること。

【審査会】 令和元年10月11日(金) 松本合同庁舎(109会議室)

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター
 専門主事 安松 大介 様
 審査委員 長野県林務部 信州の木活用課
 県産材利用推進室
 課長補佐 久保田 淳 様
 林野庁中部森林管理局 中信森林管理署
 次 長 中村 栄一 様
 (公財)長野県緑の基金
 常務理事兼事務局長 青森 淳 様
 長野県木材協同組合連合会
 理 事 長 宮崎 正毅 様
 長野県県産材振興対策協議会
 理 事 小島 和夫 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 会 長 田中 博文 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 直前会長 澁澤 一吉 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 会長代行副会長 大藏 俊介 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 副 会 長 田村 紘一 君
 長野県木材青壮年団体連合会
 副 会 長 宮崎 淳貴 君
 計11名



・外部審査委員 (左手前から)
 長野県総合教育センター 安松専門主事様
 林野庁中部森林管理局 中信森林管理署 中村次長様
 長野県木材協同組合連合会 宮崎理事長様
 長野県県産材振興対策協議会 小島理事様
 長野県林務部信州の木活用課
 県産材利用推進室 久保田課長補佐様
 (公財)長野県緑の基金 青森常務理事様

【審査風景】 令和元年10月11日(金) 松本合同庁舎 (109会議室)



【展示風景】 令和元年10月21日(月)～25日(金) 長野県庁 1階ロビー



【表彰式】 令和元年11月 3日(日) 松本市「やまびこドーム」信州バザール内



第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作品名	氏名	学校名	学年
ティラノサウルスのあたま	浅井 太 鷗	御代田町立御代田北小学校	3年
御代田真楽寺三重の塔	内堀 叶 絆	御代田町立御代田北小学校	5年
木のぬくもりを音にのせて	深谷 礎	駒ヶ根市立東中学校	3年
果凜	鋤柄 有 音	長野県松本養護学校	2年

2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏名	学校名	学年
スタンドランプ	篠原 隆 静	原村立原小学校	4年

3. 林野庁中部森林管理局 局長賞

作品名	氏名	学校名	学年
『年輪』	須田 蓮 也	佐久穂町立佐久穂小学校	6年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
か木氷	高橋 鼓 陽	南木曾町立南木曾小学校	4年

5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
原ばくドーム	森 樹 生	茅野市立永明小学校	3年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
木もれ日 森の仲間達	白倉 陽 彩	東御市立滋野小学校	5年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
きょうりゅう	小坂 瑛 純	木曾町立福島小学校	4年

8. 優秀賞

作品名	氏名	学校名	学年
竜	丸山 大 和	長野市立松ヶ丘小学校	4年
マリオのリズムをかなでるタワー	二本松 大 輝	長野市立裾花小学校	6年
二連水車としろかき風景	清水 大 我	上田市立長小学校	5年
小さなぼくのいえ	植松 大 和	富士見町立本郷小学校	3年
ぼくの夏休み	長田 涼 羽	茅野市立湖東小学校	5年
椅子にも机にもなる！二段活用家具	千葉 菜 摘	原村立原中学校	2年
メロンとパイナップル	西尾 希々花	南木曾町立南木曾小学校	2年
伊勢エビ	松下 世	南木曾町立南木曾小学校	4年
たんぼぼ	鷹見 瑠 我	南木曾町立南木曾小学校	5年
なぎそまち	鈴木 天 翔	南木曾町立南木曾小学校	6年

■第42回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

総参加人数		4,307 名
参加学校	小学校	138 校
	中学校	1 校
	盲・ろう・養護学校	1 校
	合計	140 校

審査会出品数		63 点
入選（入賞以外 1～7）	優秀賞	10 点
	佳作	10 点
	努力賞	556 点
	総作品数	3,703 点
総作品数		4,279 点

最優秀賞(長野県知事賞)

ティラノサウルスのあたま

御代田町立御代田北小学校 3年 浅井 太 鷗

●作品を創ってみての感想

夏休みのしゅくだいに木工があったので きょうりゅうを作ってみようと思いました。

きょうりゅうに使う木は 家ぞく4人で探して、たくさんひろいました。

かっこよくできたので来年も作りたいです。

●一番見てほしいポイントは

一番見てほしいポイントは、歯です。ちゃんと歯に見える木を探しました。

●苦労した点は

きょうりゅうの頭の丸いあごの部分の木を探すのが 大へんでした。

でも、ちょうどよい木があってよかったです。

小さな歯を切ったり、ネジをはめる所は、お父さんとやりました。



●木に触れてどうでしたか

ザラザラした木や、ツルツルした木 いろいろな形の木があるんだなあと思いました。

最優秀賞(長野県知事賞)

御代田真楽寺三重の塔

御代田町立御代田北小学校 5年 内堀 叶 絆

●作品を創ってみての感想

本当は 全部を再現したかったけど、昔の人が、くぎを使わずに使った通りに作るのはむずかしかったです。

本物を見に行き できるかぎりやってみました。

自然の木をひろってくることも、夏休みの楽しみでした。

1年生のころから、木工工作を夏休みに作ってきて五年生になって、初めて、最優秀賞をいただいて、本当にうれしかったです。

ありがとうございました。

●一番見てほしいポイントは

一段目の中におじぞうさんを入れた所です。

空っぽにするのは、さみしくて、おじぞうさんを石で作って入れて見ました。

●苦労した点は

木の組み方を本物と同じにしたかったです。

ただ、自然の木が、まがったりいろいろな形なので、それをくみあわせるのに苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

自然の木を使って作った中で感じたのは、固かったり やわらかかったり、すぐ折れてしまったり強くて切れなかったり、いろんな木があるということです。

中でも、木の皮は厚みも様々で、かわらにてきしている物と、てきしていない物があるということに気がつきました。

最優秀賞(長野県知事賞)

木のぬくもりを音にのせて

駒ヶ根市立東中学校 3年 深谷 礎

●作品を創ってみての感想

この作品は今年の1月に行われた木工の全国大会に向けて作りました。

自分で考えた設計を先生が修正してくださいました。県大会で作った作品よりも明らかに難しくなっていました。だから、作っている途中で何度も失敗したり けがをしそうになったりして、今までに感じたことのない緊張感を持ちました。それでも、その分全ての工程が終わったり、作品が完成した時には大きな達成感がありました。これからも少しでも木に触れる機会があったら前向きに関わっていきたいと思います。

●一番見てほしいポイントは

正面に見える赤いラインの象嵌です。この象嵌は日本の伝統技能です。

見た目にアクセントをつけるため、青色の革を使った蝶番と青色の象嵌で2本の線を取り入れました。

●苦労した点は

苦労した点は、「斜め削り」と「象嵌」です。

斜め削りは 正面の部分で2ヶ所に使われています。角度が決まっていて、左右でずれないように、かんながけをするのが大変でした。

象嵌は デザインのために取り入れましたが、あるとないとでは大きな違いがある程、大事なものです。

作業は 溝を掘ってから赤い板を埋め込むものです。簡単そうに思っていたのですが、細かい作業に、難しさを感じ、慣れるまでに時間がかかりました。



●木に触れてどうでしたか

今まで ほとんど経験していなかった貴重な体験をする事が出来、改めて日常と木の関係の大切さや、その歴史などを学びました。木の素晴らしさはいつの時代でも変わらない、そんな事を次の世代にも伝えていけたらと思います。

最優秀賞(長野県知事賞)

果凜

長野県松本養護学校 2年 鋤柄 有音

●作品を創ってみての感想

だんだんとできていく 姿を見てうれしかった。エントリーできてうれしかったので、また取り組みたいです。

●一番見てほしいポイントは

上に乗っている “レモン” のような形のもです。

●苦労した点は

やすりがけが大変でした。



●木に触れてどうでしたか

いい臭いがして、ぬくもりがあった。

長野県教育委員会賞 スタンドランプ

原村立原小学校 4年 篠原 隆 静

●作品を創ってみての感想

木工屋さんから使わない一位の木の丸太をいただきました。

丸太をそのまま生かした、ランプが作れてこの木に灯りをともせて一生使えるスタンドランプが、できてよかったです。

夏休みに作ったスタンドランプがしょうをもらえてうれしかったです。

●一番見てほしいポイントは

暗い所でライトを点けた時の木と木の間からもれるあたたかい灯りを見てほしいです。

●苦労した点は

わ切にした木と木に小さな穴をあけて細かいぼうをさして 木と木を何枚もつなぎあわせたところ。

こわれても作り直せるようにボンドを使いませんでした。

●木に触れてどうでしたか

最初はさわってみてザラザラしていたけど皮をむきやすりをかけたら、すべすべになり気持ちよかったです。



林野庁中部森林管理局長賞 『年輪』

佐久穂町立佐久穂小学校 6年 須田 蓮 也

●作品を創ってみての感想

失敗が、いろいろあったけど竹やトラなどがリアルに出来たのでよかったです。

去年よりクオリティーが上がって 自分でも満足が出来ました。

●一番見てほしいポイントは

トラの動体の年輪を少しずつずらして重ねた所です。

●苦労した点は

竹に絵の具を付け過ぎて ふき取ったらすぐ竹の色の感じが出来ました。

年輪を重ねる時に、トラの体のイメージを出す時に大変苦労しました。

●木に触れてどうでしたか

ゴツゴツした皮の付いた丸太を探すのに大変でした。



公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞 か木氷

南木曾町立南木曾小学校 4年 高橋 鼓 陽

●作品を創ってみての感想

自分が思っていたよりも かんなくずが、きれいにかたまったのでよかったです。
来年もがんばって作りたいです！

●一番見てほしいポイントは

おがくずに、ニスをまぜてシロップ見たいにした所。

●苦労した点は

かんなくずを氷の形にするのが むずかしかったです。



●木に触れてどうでしたか

最初にお父さんの知り合いの木工場におがくずやかんなくずを もらいに行った時木のいいにおいがしました。
ただ、すてられてしまうのは、「もったいないな〜。」と思いました。

長野県県産材振興対策協議会 会長賞 原ばくドーム

茅野市立永明小学校 3年 森 樹 生

●作品を創ってみての感想

夏休みに家ぞくで広島に行きました。
ぼくは、原ばくドームを見て原ばくは、とてもこわいと思いました。

それを形にしてみたいと思いました。
このわりばしは、お母さんがはたらいているラーメン屋のわりばしをリサイクルしました。
ラーメン屋さんにお手紙を書いて、わりばしをもらいました。
わりばしを箱いっぱいくれてありがとうございました。

●一番見てほしいポイントは

中心の丸い部分です。なぜなら、ピンを使いながらやったからです。
もう一つのポイントは、外がわのかべの部分です。なぜなら、一つ一つ長さをはかってボンドでつけたからです。

●苦労した点は

使ったわりばしは、ラーメン屋さんのものでしたので、油を落とすのに苦労しました。
わりばしを同じ長さに切れなくて苦労しました。



●木に触れてどうでしたか

木工がこんなに楽しいとは、思ってもいなかったです。
小さな木を組むことで、あんなに大きな物が作れるとは、思わなかったです。

長野県木材協同組合連合会 理事長賞
木もれ日 森の仲間達

東御市立滋野小学校 5年 白倉陽彩

●作品を創ってみての感想

木だけでなく森の仲間たちをねん土で作ったのがよかった。
毎年木工工作を作るのが楽しみです。

●一番見てほしいポイントは

光っているところや森の中をねん土で作ったところがポイント。
つるを使って自分であんだところ。

●苦労した点は

木をひもでしばった所やねん土で形を作った所が苦労した。



●木に触れてどうでしたか

山の木や流木や松ぼっくりを集めてみて いろいろな物にふれて 光をともしたら 温かかった。

長野県木材青壮年団体連合会 会長賞
きょうりゅう

木曾町立福島小学校 4年 小坂瑛純

●作品を創ってみての感想

流木をひろげてみたら きょうりゅうの顔にみえる流木があったのできょうりゅうを作ろうと思いました。

その顔に合う体や手、足を組み合わせて、みつけたすのがむずかしかったけど見つけ出した時はすごくうれしかったです。

最高のきょうりゅうができました。

●一番見てほしいポイントは

アゴがピタッ!とはまった時がうれしかったのでアゴの部分です。

きょうりゅうがガッツポーズしている所です。

●苦労した点は

電動ドライバーで流木をネジで固定するのがむずかしくお父さんにおさえてもらいながら作りました。

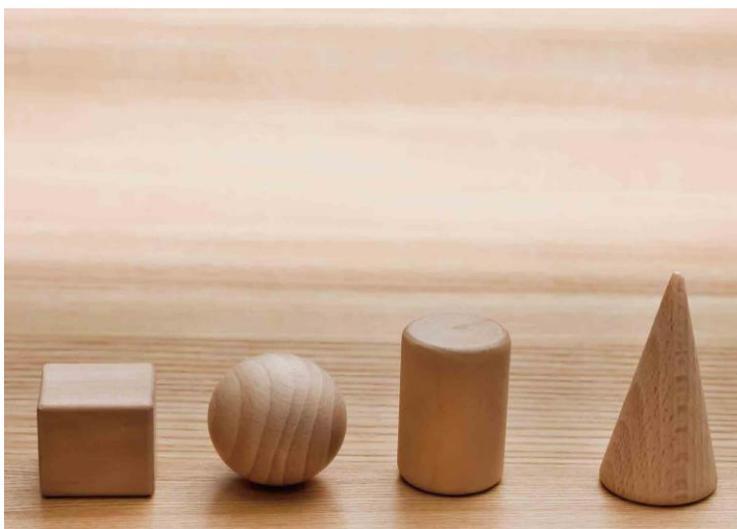
流木をきれいにあらうのも大変でした。



●木に触れてどうでしたか

流木は、いろいろな形があっっておもしろい。
ゴツゴツしている流木もあればツルツルしている流木もあった。

触れて、創って、知る ウッドコレクション



長野県木材青壮年団体連合会

〒380-8567 長野市岡田町30-16

メール: info@n-msr.com

TEL: 026-226-1471 FAX: 026-228-0580

WEB: <http://n-msr.com/>